

<p>1. 滝沢 一成 (輝)</p>	<p>1. 議案第69号 令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症や豪雪災害に過去に例を見ない累次の補正予算を編成した。国県より応分の財政支援措置を得たところであるが、財政計画等、市の財政全般に対してどのような影響があったか。</p> <p>(2) 第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「まちの活性化」の分野において、城下町高田の歴史・文化をいかした「街の再生」の取組、あわせて高田での空き町家をテーマとするワークショップ、住民との住環境の検討、直江津地区での空き家や空き地等の実態調査を踏まえた課題整理や取組方針の検討、セミナー等を行い、利活用に向けた各種の取組を行ったとあるが、その効果をどのように捉えているか。</p> <p>(3) 第6次総合計画に掲げる暮らしの戦略中、第一「つながりを育むまちづくり」で、外国人市民に対する支援体制を充実させたとするが、外国人市民らからの評価など効果があったか。</p> <p>(4) 同じく、「つながりを育むまちづくり」で、日本語支援を必要とする児童生徒に対して日本語指導と教科指導の充実を図り、基礎的知識の習得や学校生活の充実を支援したとあるが、不登校生徒の解消など目に見える効果はあったか。</p> <p>(5) 第2期総合戦略に掲げる「U I J ターンとまちの拠点性・担い手づくり」の分野において、「市内在学の高校生が当市の魅力を発信する動画を制作する取組を行った」、また、交流の戦略中、第二「水族博物館を核とした地域活性化」で「来館が困難な方々に水生生物の情報を届けるため、SNSやインターネット上で動画配信した」など、ネットを利用した情報発信に努めてきたと思われるが、その効果をどう総括するか。また、昨年度のそうした積極的な取組を経て、情報の伝え方について何らかの方向性を見出したか。</p> <p>2. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 佐渡汽船株式会社へ小木直江津航路維持に向けた約2億4千万円の支援金を計上しているが、その予算根拠は何か。また、佐渡・直江津間の航路において、新規に貨物船の運行を計画している船舶会社があるが、当補正予算と関連して小木直江津航路の在り方をどのように展望するか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理者の資金繰りが悪化し、運営が困難となっている指定管理施設について、運営継続を目的とした指定管理料を再算定し増額したとあるが、その算定根拠は何か。また、こうした支援的措置は他施設にもあり得る常態と考えるか、特別な措置と考えるか。</p>
-------------------------	---

<p>2. 杉田 勝典 (公明党)</p>	<p>1. 市長の提案理由について</p> <p>(1) 市長にとって最後の決算となる令和2年度決算について、「過去に例を見ない累次の補正予算を編成した1年」と述べているが、どのような感慨と危機感を持っての財政運営であったのか。</p> <p>(2) コロナ禍における地域経済への支援では、時宜を捉えた市独自の取組を展開し、市内経済の立て直しを図ったとしているが、成果や効果を端的にどう捉えているか。また、市内経済の現状や今後の課題をどう捉えているか。</p> <p>2. 議案第69号 令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症や豪雪等の対応により、国庫支出金が前年度235%増の339億円と膨らんだため、実質収支が43億円余りになったが、これまで続いてきた歳出超過の財政構造や収支不足額の状況、また今後の歳入・歳出全体の財政見通しをどう考えているか。</p> <p>(2) 国が国策として地方移住の流れを目指す中、市の移住関係の制度等を利用した移住者は、令和元年度を上回る41世帯67人となった。移住支援の取組の成果をどう分析しているか。また、当市における今後の移住についての見通しをどう考えているか。</p> <p>(3) 指定管理施設と直営施設を合わせた観光施設全体の利用者数が前年度比46.4%減の57万2千人に落ち込んだほか、観桜会や観蓮会、謙信公祭などの数々の各種イベントの事業規模が大幅に縮小となったが、コロナ禍による観光需要の変化を踏まえた観光誘客促進の取組の成果を聞きたい。また、厳しい中での観光戦略の今後の可能性・方向性についてどのように考えているか。</p> <p>3. 議案第75号 令和2年度上越市病院事業会計決算認定について</p> <p>(1) コロナの影響が色濃く、入院患者数・外来患者数の大幅減少により、収益的収支では約2億円余りの赤字となったが、収支改善における取組の成果はあったのか。</p> <p>4. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 佐渡汽船株式会社に対し、小木直江津航路の維持に向けた支援を行うための所要額を増額するとしているが、同社の中間決算での26億円の債務超過を踏まえた上での判断なのか。また、市民の理解に向けどう説明を図っていくのか。今後、佐渡汽船株式会社の経営状況の改善に向け、同社や新潟県をはじめとする関係機関とどう連携を図っていくのか。</p> <p>(2) 中小企業者チャレンジ応援事業補助金の増額について、これまでの取組実績と事業者からの要望、更なる補助等を含め、今後の見通しをどう捉えているか。</p>
---------------------------	---

<p>3. 池田 尚江 (創風)</p>	<p>1. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 7款1項2目商工振興費中、直江津港振興事業について、小木直江津航路維持確保に向けた支援金2億3,969万円の根拠として「新型コロナウイルス感染症の影響により減少した輸送人数に応じた運賃収入相当額」としているが、新型コロナウイルス感染症の影響は、デルタ株によりこれまで以上に深刻になってきている現状から、航路維持を目的とした支援に今後不透明感がある。出資者でない上越市として、今後、佐渡汽船株式会社とどのように関わっていく考えか聞きたい。</p> <p>2. 議案第69号 令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算について、実質公債費比率並びに将来負担比率は前年度より低下しているが、今後も進む人口減少等に伴う標準財政規模の変化の中、必ずしも健全範囲の維持が保証されない。今後の公債費の推移をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>3. 議案第85号 上越市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について</p> <p>(1) 消防団員の定員を「3,840人」から「3,710人」に改めるとしているが、その根拠はどこにあるのか聞きたい。また、消防団再編との関わりも併せて聞きたい。</p> <p>4. 議案第75号 令和2年度上越市病院事業会計決算認定について</p> <p>(1) 上越地域医療センター病院基本計画において、令和2年度を「経営改善検証期間」と位置付け、検証を行うとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な検証ができなかったとしている。何か検証に大きな問題があるか聞きたい。</p>
--------------------------	--

<p>4. こんどう彰治 (市民クラブ)</p>	<p>1. 第6次総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けた人口減少対策の取組について</p> <p>(1) 当市の喫緊の課題である人口減少対策に取り組むことが、第6次総合計画に掲げる将来都市像の実現につながると考えるが、はっきりとした成果が見られない。令和2年度の実施内容と成果をどのように考えているか。</p> <p>2. まち・ひと・しごと創生総合戦略における令和2年度の取組について</p> <p>(1) 「結婚・出産・子育て」の分野において、つちはし保育園など4園の民営化に向けて、保護者や移管先事業者との協議を進めたとあるが、保護者や移管先事業者からどのような声が寄せられたか聞きたい。また、来年度の移管に向けた見通しを聞きたい。</p> <p>3. 議案第69号 令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 令和2年度の財政指標においては、4種類全ての比率が警戒ラインとなる早期健全化基準を下回ったとしている。その中において、財政力指数(3か年平均)が前年度比0.008ポイント低下している。この要因として何が挙げられ、どのように対処していくのか聞きたい。また、経常一般財源比率も前年度比1.5ポイント低下しているが、この要因などを聞きたい。</p> <p>4. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 2款1項26目中、市民プラザ管理運営費において、エスカレーター改修工事に885万1千円の補正予算が提案された。工期は約7か月とされているが、故障から現在に至るまでの経緯を聞きたい。また、予定工期が令和3年11月からとなっているが、この理由について聞きたい。</p> <p>(2) 7款1項2目中、直江津港振興事業において、小木直江津航路維持確保支援金として約2億4千万円が計上されている。支援の内容としては、小木直江津航路の維持に向け、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した輸送人数に応じた運賃収入相当額を佐渡汽船株式会社に対して支援するとしているが、算出根拠を聞きたい。もし、新型コロナウイルス感染症の影響が無ければ支援の予定は無かったのか。また、支援策に関連して早期にカーフェリー導入も担保されているのか聞きたい。</p>
------------------------------	--

<p>5. 高山 ゆう子 (みらい)</p>	<p>1. 市長の提案理由の要旨について</p> <p>(1) 令和2年度決算額について、歳入歳出収支差引は48億1,744万円となりここから繰越額として令和3年度へ繰り越した財源4億7,015万円を差し引いた実質収支は、43億4,729万円と黒字になっている。この黒字額の内訳を聞きたい。また、コロナ禍において各種イベント等の中止や規模縮小等による執行の残はどの程度に影響したのか。</p> <p>2. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 2款1項26目中上越市市民プラザのエスカレーター故障に伴う更新工事に要する経費として885万円の増額が予算計上されている。本年4月からの故障により多くの市民が不便を感じており、1日も早い改修完了を望む声があるが、なぜ着手が遅れたのか。また、予定工期は令和3年11月から令和4年5月となっているが、7か月という長い工期が必要なのか。</p> <p>(2) 7款1項2目中直江津港振興事業で、小木直江津航路維持確保支援金として2億3,969万円が予算計上されているが、市長の提案理由ではこの度の支援は航路の維持に向け、コロナ禍の影響により減少した運賃収入相当額を佐渡汽船株式会社に対して支援するとしている。その支援額の積算根拠について聞きたい。また、市民の税金である一般財源を充てることから、上越市と上越市民へのその還元についてどのように考えているのか聞きたい。</p> <p>(3) 7款1項3目中観光交流費で、コロナ禍により特にその影響が大きく経営が悪化し、継続運営が困難となっている柿崎マリンホテルハマナスほか3施設について指定管理料の再算定により1,971万円を増額するとあるが、この補正予算の積算根拠を聞きたい。また、他の指定管理施設に対する今後の見通しについても聞きたい。</p>
----------------------------	---

<p>6. 平良木 哲也 (日本共産党議員団)</p>	<p>1. 市長の提案理由の要旨について</p> <p>(1) 「地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、地域包括支援センターの業務に、障害のある人や生活困窮者等の相談対応を加え、身近な地域において複合的な相談を一体的に支援できる体制を整えた」としているが、実態に即した総括をどのように行ったのか。各地域包括支援センターにおいては、一体的に支援できる体制が十分に構築できたのか。市民への相談対応が不十分になった事例や運営する法人の負担が重くなった事例はなかったか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止や市民生活・地域経済の支援として行ってきた様々な取組について、次の点を聞きたい。</p> <p>ア 国や県の予算措置の活用とは別に市独自の取組としては、どれだけの取組を行ってきたのか。また、そうした市独自の取組は市民生活を守る上でどのような効果があったと評価しているか。</p> <p>イ 最大級の災害とも言える新型コロナウイルス感染症の拡大により受けた市内経済への影響を、どのように把握し、どのように対処してきたのか。</p> <p>ウ 商工団体への支援等で、「落ち込んだ市内消費の回復による市内経済の立て直しを図った」としているが、「市内経済の立て直し」とは何を指しているのか。</p> <p>(3) 病院事業会計で、施設の改築について、今般の感染症の影響等を受け、十分な検証を行うことができなかったことから、今年度の実施を見合わせ、経営の見通しを立てた上で早期着手を目指したいとしているが、どんな改善検証の進捗状況と計画全体の見直しの下での結論だったのか。</p> <p>2. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 佐渡汽船株式会社に対する支援について、同社による中長期的な経営改善計画が示されず、支援による経営改善の見通しも明らかになっていない中で、大規模な財政支援を行うことの根拠をどのように捉えているのか。また、市民の理解を得るために、どう説明するのか。</p> <p>(2) この件について、8月12日に行った文教経済常任委員会の所管事務調査では、同社の輸送需要についての想定が「秋頃から回復し来春にコロナ前と同水準に戻る」としていることが説明されたが、この想定を市はどう評価した上で、支援を決めたのか。</p>
---------------------------------	--

<p>7. 安田 佳世 (無所属)</p>	<p>1. 議案第69号 令和2年度上越市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>(1) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行があり、市では、感染症拡大防止に資する取組、市民生活への支援に資する取組、地域経済への支援に資する取組を行ってきた。それらの取組の状況と成果をどのように考えているか。</p> <p>(2) 当市では、UIJターンを、第2期総合戦略の施策分野の一つに位置付けるとともに、全ての政策分野と連動して推進してきている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行があり、人々の意識や行動、価値観に影響を与え、地方回帰の高まりも予想された。このような状況を捉え、UIJターンに関する施策に、より一層取り組んでいくことが重要だと考えているが、今後のUIJターンの推進を念頭に、令和2年度の取組と成果をどのように考えているか。</p> <p>2. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 7款1項2目中、直江津港振興事業について、今定例会に提案する理由と佐渡汽船株式会社に2億3,969万円を支援する理由は何か。今後の小木直江津航路をどう考えているかと併せて、聞きたい。</p> <p>3. 公の施設の指定管理者への減収補填と指定管理料の見直しについて</p> <p>(1) 市では、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた公の施設の指定管理者に対して減収補填を行ってきた。一方、令和3年度は、現行の指定管理料による運営を基本とし、運営が困難な場合は指定管理料を見直すこととしているが、対応方針を変更した理由について聞きたい。</p>
---------------------------	--

<p>8. 宮越 馨 (無所属)</p>	<p>1. 議案第80号 令和3年度上越市一般会計補正予算(第2号)について</p> <p>(1) 2款1項6目中、財産管理費における財政調整基金積立金として13億2,364万6千円が増額補正されているが、新型コロナウイルス感染症による経済的大ダメージを受けている飲食業・旅館業・交通業・小規模小売店等への経済的支援の声が高まっていることに鑑み、余裕財源は財政調整基金に積むのではなく、危機的困窮に陥っているこうした方々への有効活用が先ではないかと思うが、その補正根拠と財源内訳を聞きたい。</p> <p>(2) 各自治体における財政調整基金の規模については、それぞれの自治体事情があることから一律には考えられないものの、新潟県内20市平均や全国類似団体25市平均との比較は一定の判断基準として捉えてもよろしいかと考える。ならば、そうした観点から見た場合、上越市の基金規模は、令和2年度決算ベースでは新潟県下20市の2.1倍、類似団体比較では1.17倍、令和3年補正ベースだと、県下20市(令和2年決算比較)の2.5倍、類似団体比較で1.4倍となり、上越市の保有額はかなり大きいと思う。こうした観点からどう受け止めているかの所見を聞きたい。</p>
--------------------------	--